

「子供が学ぶ」 My 授業づくり シート

～拡散と収束のある学び

須田小学校 杉山 豊和

◆「子供が学ぶ姿」

子供の「よく分からない」を「はっきりさせたい」に高まることで、子供は、友達のことを付け加えたり、新たな考えを思い付いたりすることで、考えをより深めていきます。

体育学習編 ～機械運動

◆教師の役割～日常的な4つの役割

次の4つのことを中心に、授業づくりに取り組んでいます。

- ① 授業で考えること（学習課題）のしかけ
- ② 子供から様々な考えを引き出すしかけ
- ③ 様々な考えを整理するしかけ
- ④ 自分の学びをまとめるしかけ

学習課題のしかけ ?を感じる

◆子供が、学習のめあてをもつ

- ① 学習のゴール（手本）と自分（チーム）の動きの違いを具体的に示す
- ② 課題を解決するために必要な練習を示す
- ③ チームの特徴（よさ）を生かす作戦例を示す（団体競技）

拡散のしかけ

◆子供から、様々な考えを引き出すめあてをもつ、たしかめる

- ① 練習ポイントをはっきりさせるホワイトボード、確かめるタブレットを使う
目や耳で広げる
- ② ウェブマッピングやKJ法（目）や、動きをイメージするオノマトペ（耳）で、子供の考えを広げる
グループ対話
- ③ 学習のねらいをもとに、友達と考えを伝え合う

収束のしかけ

◆子供の考えを、整理する視点を示すねらいと合うかチェック

- ① 手本となる動きの再確認をする
ネーミング（ラベリング）
- ② 学習のめあてとつないで、短い言葉でまとめる

まとめのしかけ 型でまとめる

◆子供が、学習課題についてまとめる

- ① 練習やゲームで、学習のめあてを振り返る
- ② 言葉でまとめる際は、まとめる視点やキーワード等を示す

「跳び箱運動」

■今日の学習課題のしかけ

◎台上前転をするとき、どんなことに気を付ければよいか（※③）

- ① お手本の動きと自分の動きの違いを比べる
- ② めあてを解決するためのコツを発表させたり教えたりする

■今日の拡散のしかけ

- ① 自分の撮影してほしい動きを伝える（自分ができる動き、がんばる動き）
※静止・スロー再生して、動きをチェックする
 - ② 見付けた「動きのコツ」をオノマトペ（クル、ダウン、ピタ等）に置き換えて付箋に書く
 - ③ 体育館の壁に掲示した「動きの展開図」に、付箋を貼りながら、動きについて相談する
- 【4つの運動場面】
踏切・着手・空中姿勢・着地

■今日の収束のしかけ

- ② 「動きの展開図」の4つの運動場面毎に、付箋を整理する
- ② 共通するキーワード（似ている）や使いやすい言葉で「動きのコツ」をまとめる

■今日のまとめのしかけ

- ① 全体で共有した動きのコツを試す
- ② 振り返りの視点を基に、自分の動きの振り返りをする

【成果】「どのコツを使い、何ができたか」

【目標】「次は、何に気を付けるか」

【発見】「自分が見付けたコツはあるか」



【導入】

◎台上前転をするとき、どんなことに気を付ければよいか

どこに気を付けようかな？前の時間の跳び箱の時は・・・



ポイントの撮影



再挑戦！



跳び方の確かめ



こつの発見！

【収束】
学習課題について発見した「こつ」を、動作の場面毎にオノマトペで整理する

